

**DV ドメスティック・バイオレンス (2004)**

DV

メディア 映画  
ジャンル ドラマ  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 85分  
初公開日 2005/02/05  
公開情報 バイオタイド  
映倫 R-15

**【解説】**

近年、日本でも急速に社会問題化している、配偶者や恋人による暴力、いわゆるDV（ドメスティック・バイオレンス）に真正面から取り組んだ社会派ドラマ。監督は「櫻の園」「コンセント」の中原俊。夫の暴力に脅えながらも逃げることのできない妻の姿を通して、歪んだ愛の形が引き起こす悲劇を描き出す。主演は遠藤憲一と本作が長編初主演の英由佳。

ジュエリーショップに勤める29歳の鬼頭泰子は、ひと回り上の41歳になるサラリーマンの昭吾と3年前に結婚、幸せな日々を送っていた。子どもはまだいなかったが、互いに相手を心から愛していた。ところが3回目の結婚記念日、花束を手に妻の勤めるジュエリーショップの前に立った昭吾は、年下の同僚・前田と親しげに言葉を交わす妻を目にすると、突然その場を立ち去ってしまう。数日後、泰子はリビングに飾ってあった写真がすべてなくなっていることに気づく。昭吾は、泰子の大切なアルバムも捨ててしまっていた。やがて昭吾の常軌を逸した行動はエスカレートしていく…。

**【クレジット】**

監督 中原俊  
製作 関正博  
松井建始  
プロデューサー 永森裕二  
尾西要一郎  
原案 永森裕二  
脚本 KAZU  
永森裕二  
撮影監督 下元哲  
美術 古積弘二  
編集 今井俊裕  
音楽 小宮山聖  
録音 永口靖  
助監督 村田啓一郎  
出演 遠藤憲一 鬼頭昭吾  
英由佳 鬼頭泰子  
高野八誠 前田  
中原和宏  
高橋かすみ

山本浩司  
松田祥一  
三上真史  
でんでん  
りりィ Lily 霧島  
小沢和義 宗方